

2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月13日

上場会社名 株式会社BlueMeme 上場取引所 東

コード番号 4069 URL https://www.bluememe.jp/

代 表 者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮脇 訓晴

問合せ先責任者 (役職名) コーポレート本部長 (氏名) 山口 英利 (TEL)03-6712-8196

半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

() CHAILD SAIX (SIAN)						01271100	1,1 11,1 1 1 H1V	<u> </u>		
	売上高		営業利益		営業利益		経常利	益	親会社株主 する中間約	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
2026年3月期中間期	1, 700	56. 2	111	_	109	_	66	-		
2025年3月期中間期	1, 088	△9.9	△58	_	△70	_	△67	_		

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 70百万円(-%) 2025年3月期中間期 △71百万円(-%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円銭	円銭
2026年3月期中間期	19. 94	19. 64
2025年3月期中間期	△19.67	_

(注) 2025年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益に関しては、潜在株式が存在するものの1株当たり中間純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

(- / X= (A A A A A A A A A			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	4, 030	2, 597	62. 3
2025年3月期	3. 899	2, 537	64. 6

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 2,511百万円 2025年3月期 2,518百万円

2. 配当の状況

		年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計		
	円銭	円 銭	円 銭	円銭	円 銭		
2025年3月期	_	0.00	_	0.00	0.00		
2026年3月期	_	0.00					
2026年3月期(予想)			_	0.00	0.00		

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高	5	営業利	益	経常利	益	親会社株主 する当期約		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	3, 300	40. 5	150	379.9	150	627.0	100	_	29.	56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規1社(社名)株式会社アルターデザ
インコンサルティング、除外社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無② ①以外の会計方針の変更 : 無③ 会計上の見積りの変更 : 無④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	3, 603, 946株	2025年3月期	3, 603, 946株
2026年3月期中間期	278, 779株	2025年3月期	220, 942株
2026年3月期中間期	3, 354, 862株	2025年3月期中間期	3, 426, 588株

- ※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料には業績予想や将来の見通しに関する記載が含まれております。これらの記載は本資料の日付時点の情報に基づき作成しており、将来の結果や業績を保証するものではありません。これら将来の見通しに関する記載には様々なリスクや不確定要素が含まれております。このため、実際の業績等は、将来の見通しに関する記載によって明示的あるいは暗黙的に示された将来の結果や業績の予測とは大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報
(1)経営成績に関する説明
(2) 財政状態に関する説明
(3) キャッシュ・フローに関する説明
(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 4
(1) 中間連結貸借対照表
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書
(4)中間連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)
(重要な後発事象)8
(セグメント情報等の注記)

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当中間連結会計期間 (2025年4月1日~9月30日) における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇、米国の政策動向、中東情勢、金融資本市場の変動等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。当社グループの属する情報サービス産業においては、そのような状況の中においても、労働力の減少に対応する経営効率化や生産性向上はもとより、テクノロジーの活用により新たな価値や収益を生み出すデジタルビジネスの推進を狙いとするデジタル・トランスフォーメーション(以下「DX」という。)への需要は依然として強く、中でも将来の技術者減少や技術革新に対応するための情報システムの近代化、モダナイゼーションへの取組が活発であることから、IT投資の需要が引き続き堅調に推移することが期待されます。

このような状況の中、当社グループは「新たな価値を創造し、常識を変え、文化を進化させる」という企業理念のもと、ローコードによる自動化技術及び当社グループ独自のアジャイル開発方法論を活用した、情報システム開発の内製化を推進するサービスを提供することにより、日本企業の国際的競争力を向上させることをミッションとするDX事業を展開しております。

当社グループの事業は、ローコード技術とアジャイル手法を最大限に活かせる当社グループ独自の開発方法論である「AGILE-DX」を活用したコンサルティング・受託開発サービス及び技術者向けトレーニングの各サービスを提供する「プロフェッショナルサービス」と、ローコードプラットフォーム等ソフトウェア製品を販売する「ソフトウェアライセンス販売」から構成されております。「プロフェッショナルサービス」においては、「OutSystems®」を中心としたローコードプラットフォームを活用したコンサルティング及び受託開発の提供が引き続き順調に拡大する中、将来の需要拡大に備えた当社グループ従業員技術者の採用・育成及びサービスパートナーの確保に加え、サービス提供の効率化を促進することや次世代の技術による新規事業のための研究開発にも注力いたしました。「ソフトウェアライセンス販売」においては、「プロフェッショナルサービス」の提供に伴う「OutSystems®」を中心とする当社グループ取扱製品の顧客への定着及び拡販に努めております。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は1,700,488千円(前中間連結会計期間比56.2%増)、営業利益は111,052千円(前中間連結会計期間は58,384千円の営業損失)、経常利益は109,860千円(前中間連結会計期間は70,896千円の経常損失)、親会社株主に帰属する中間純利益は66,902千円(前中間連結会計期間は67,415千円の親会社株主に帰属する中間純損失)となりました。

また、セグメントの業績につきましては、当社グループはDX事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における流動資産は3,545,072千円となり、前連結会計年度末に比べ78,910千円増加いたしました。これは主に売掛金及び契約資産が減少した一方で、現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は485,908千円となり、前連結会計年度末に比べ52,368千円増加いたしました。これは主に投資有価証券が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は4,030,981千円となり、前連結会計年度末に比べ131,278千円増加いたしました。

(負債)

当中間連結会計期間末における流動負債は1,354,010千円となり、前連結会計年度末に比べ91,133千円増加いたしました。これは主に未払法人税等及び契約負債が増加したことによるものであります。固定負債は79,542千円となり、前連結会計年度末に比べ19,673千円減少いたしました。これは主に長期借入金が減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,433,552千円となり、前連結会計年度末に比べ71,459千円増加いたしました。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は2,597,428千円となり、前連結会計年度末に比べ59,819千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益によるものであります。

以上の資産、負債、純資産の増減の結果、自己資本比率は62.3%(前連結会計年度末は64.6%)となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1,830,087千円となり、前連結会計年度に比べ123,911千円増加いたしました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、156,511千円(前中間連結会計期間は273,779千円の使用)となりました。 これは主に、税金等調整前中間純利益及び売上債権及び契約資産の減少額によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、61,292千円(前中間連結会計期間は15,796千円の使用)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は、33,476千円(前中間連結会計期間は85,508千円の使用)となりました。これは主に、非支配株主からの払込による収入があった一方で、短期及び長期の借入金の返済があったためであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績につきましては、2025年5月13日に公表した業績予想から変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

		(単位:千円)
	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 712, 242	1, 833, 154
売掛金及び契約資産	1, 538, 731	1, 481, 313
仕掛品	35	2, 272
その他	217, 591	229, 547
貸倒引当金	△2, 439	$\triangle 1,215$
流動資産合計	3, 466, 162	3, 545, 072
固定資産		
有形固定資産	140, 954	130, 239
無形固定資産	31, 381	27, 010
投資その他の資産	261, 203	328, 658
固定資産合計	433, 540	485, 908
資産合計	3, 899, 702	4, 030, 981
負債の部		
流動負債		
買掛金	1, 080, 018	1, 042, 198
短期借入金	22, 626	10,008
未払法人税等	11, 937	54, 770
契約負債	54, 497	75, 440
賞与引当金	5, 600	5, 068
受注損失引当金	4, 685	6, 140
その他	83, 511	160, 385
流動負債合計	1, 262, 876	1, 354, 010
固定負債		
長期借入金	42, 145	23, 320
資産除去債務	52, 823	53, 059
その他	4, 247	3, 163
固定負債合計	99, 216	79, 542
負債合計	1, 362, 092	1, 433, 552
純資産の部		
株主資本		
資本金	973, 832	973, 832
資本剰余金	964, 832	964, 832
利益剰余金	899, 856	966, 758
自己株式	△316, 100	△391, 900
株主資本合計	2, 522, 421	2, 513, 522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3, 818	△2, 233
その他の包括利益累計額合計	△3,818	△2, 233
非支配株主持分	19,006	86, 139
純資産合計	2, 537, 609	2, 597, 428
負債純資産合計	3, 899, 702	4, 030, 981
× · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		2, 000, 001

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 中間連結損益計算書

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1, 088, 463	1, 700, 488
売上原価	547, 504	942, 219
売上総利益	540, 959	758, 269
販売費及び一般管理費	599, 343	647, 217
	△58, 384	111, 052
営業外収益		
受取利息	178	1,518
公演料収入	3, 611	_
その他	222	900
営業外収益合計	4, 013	2, 419
営業外費用		
支払利息	133	393
為替差損	6, 416	2, 519
支払手数料	79	698
イベント関連支出	9, 747	_
その他	150	_
営業外費用合計	16, 525	3, 610
経常利益又は経常損失(△)	△70, 896	109, 860
特別損失		
減損損失	_	* 1,751
特別損失合計	_	1, 751
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損 失(△)	△70, 896	108, 109
法人税、住民税及び事業税	3, 066	43, 101
法人税等調整額	△3, 840	△3, 756
法人税等合計	△774	39, 345
中間純利益又は中間純損失(△)	△70, 122	68, 764
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失 (△)	△2, 706	1,862
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に 帰属する中間純損失 (△)	△67, 415	66, 902

中間連結包括利益計算書

		(単位:千円)_
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日
	至 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	至 2025年4月1日
中間純利益又は中間純損失(△)	△70, 122	68, 764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	$\triangle 1,703$	1, 584
その他の包括利益合計	△1, 703	1, 584
中間包括利益		70, 348
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△69, 118	68, 486
非支配株主に係る中間包括利益	$\triangle 2,706$	1,862

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

		(単位:千円)
	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間 純損失(△)	△70, 896	108, 109
減価償却費	10, 971	11, 555
のれん償却額	-	4, 464
減損損失	-	1, 751
受取利息	△178	△1,518
支払利息	133	393
株式交付費	150	_
支払手数料	79	698
為替差損益(△は益)	_	4, 784
貸倒引当金の増減額(△は減少)	_	△1, 224
賞与引当金の増減額 (△は減少)	_	△532
受注損失引当金の増減額(△は減少)	5, 770	1, 455
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	331, 499	57, 418
棚卸資産の増減額(△は増加)	△2, 340	△2, 236
仕入債務の増減額 (△は減少)	△349, 127	△37, 820
契約負債の増減額 (△は減少)	16, 227	20, 942
その他	△140, 937	△9, 534
小計	△198, 647	158, 705
— 利息の受取額	178	1,518
利息の支払額	△133	△393
法人税等の支払額	△75, 177	△3, 319
営業活動によるキャッシュ・フロー	△273, 779	156, 511
投資活動によるキャッシュ・フロー	,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
有形固定資産の取得による支出	△14, 768	△814
無形固定資産の取得による支出	_ ,	△960
投資有価証券の取得による支出	_	△60, 672
敷金及び保証金の差入による支出	△17	△1, 045
長期貸付けによる支出	△1, 085	△803
その他	75	3, 003
という	△15, 796	△61, 292
財務活動によるキャッシュ・フロー	210,100	
短期借入金の純増減額(△は減少)	_	△17, 622
長期借入金の返済による支出	<u> </u>	△13, 821
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1, 089	
自己株式の取得による支出	△8, 460	△76, 498
自己株式取得のための預託金の増減額(△は増加)	△91, 452	76, 801
リース債務の返済による支出	△522	△654
非支配株主からの払込みによる収入	13, 837	65, 271
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85, 508	33, 476
現金及び現金同等物に係る換算差額	_	△4, 784
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△375, 084	123, 911
現金及び現金同等物の期首残高	2, 228, 759	1, 706, 176
現金及び現金同等物の中間期末残高	* 1,853,674	* 1,830,087
	_, , - • +	_,,

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

2025年6月2日付で株式会社アルターデザインコンサルティングを新規に設立したため、当第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

(中間連結損益計算書関係)

※減損損失

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

該当事項はありません。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	減損損失 (千円)
福岡県福岡市	事業用資産	建物	1, 497
福岡県 福岡市	事業用資産	工具器具及び備品	253
	1, 751		

当社グループは、事業用資産については管理会計上の区分に基づいてグルーピングを行っており、遊休資産及び処分予定資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

事業所の一部移転に伴い、処分予定となった当該資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減 少額を減損損失として計上しております。

なお、当該資産の回収可能価額は、売却が困難であることから、ゼロとして評価しております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のと おりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金	1,853,674千円	1,833,154千円
預入期間が3か月を超える定期預金	_	△3,066千円
現金及び現金同等物	1,853,674千円	1,830,087千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社グループの事業セグメントは、DX事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループの事業セグメントは、DX事業の単一セグメントのため、記載を省略しております。